

# 1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

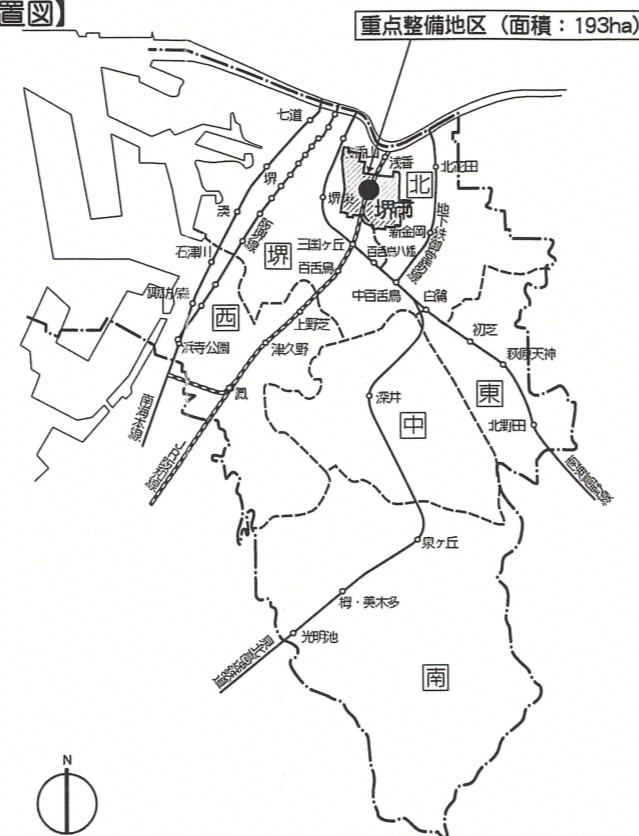
地区 JR 堺市駅周辺地区

## 地区特性

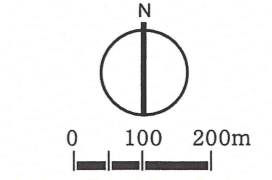
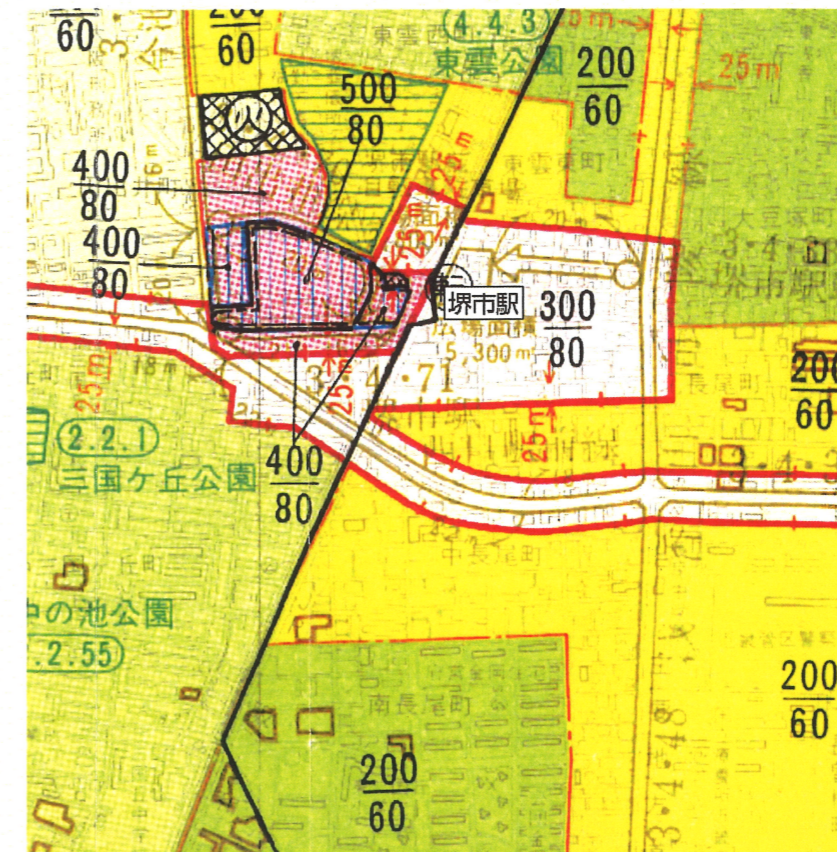
### 【データ】

- ① 1日平均乗降客数……24,450人/日（実績）
- ② 高齢者利用者数……2,877人/日（推定）  
 身体障害者利用者数……687人/日（推定）  
 （注）高齢者利用者数 = 1日平均乗降客数(①) × 市平均高齢者率  
 身体障害者利用者数 = 1日平均乗降客数(①) × 市平均身体障害者率
- ③ 駅前広場概要
  - ・面積（東側）……5,300㎡（計画）
  - ・面積（西側）……2,800㎡（整備済）
  - バスパース数（西側）……4
  - タクシーバース数（西側）…1

### 【位置図】



## 用途地域図



平成12年11月作成

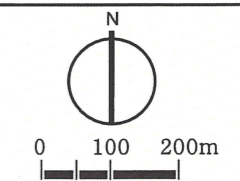
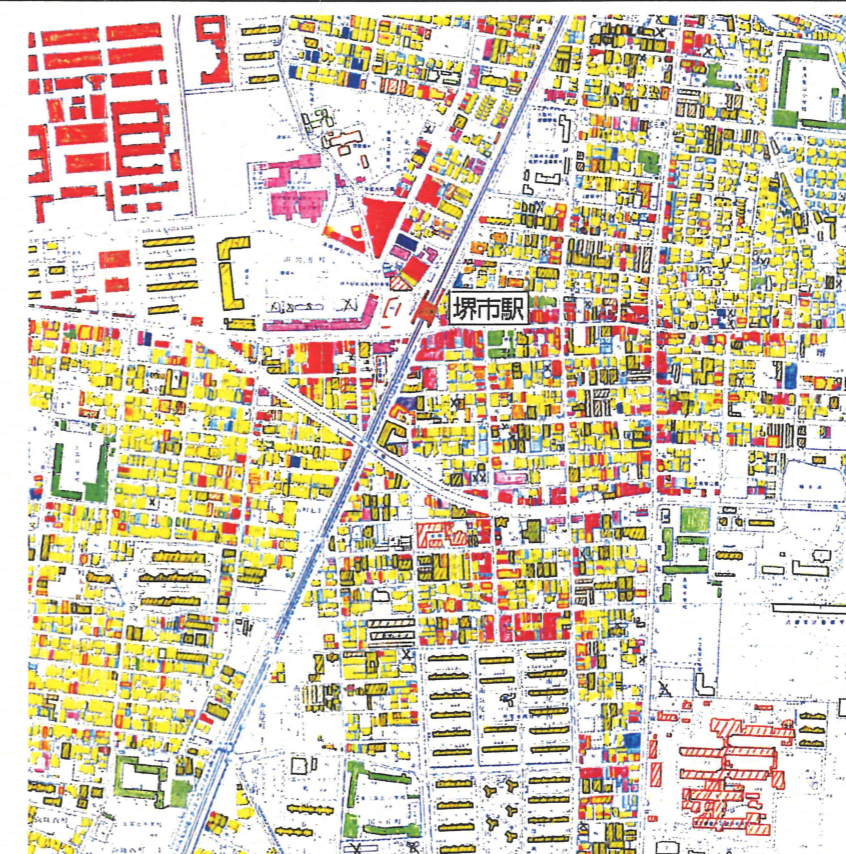
### 【地区特性】

- ・堺市駅は、堺市の都心の東に位置する駅であり、6支所地域では堺地域に位置するが、北地域に接しており、両地域を駅勢圏とする駅である。
- ・堺市駅周辺地区については、再開発事業に伴い、文化施設、大規模店舗、商店街、都市型住宅などで構成する新たな拠点を形成している。
- ・駅周辺地区には、堺市立文化館、斎場などの公共公益施設が立地している。

### 【交通バリアフリー化からみた主な課題】

- 鉄道駅
  - ・駅構内・構外ともにエレベーター、エスカレーターが未整備である。
  - ・利便施設については、障害者用便所が整備済みであるが、ガイドラインからみてその機能が不十分である。
  - ・情報提供施設については、構内の案内板の整備などの課題がある。
- 駅前広場
  - ・バス停上屋は整備済みであるが、使いやすいベンチ、分かりやすい情報提供装置の再整備の検討が必要である。
- 道路
  - ・再開発地区内の道路は歩道が整備済みであるが、駅東側、南側での歩行空間の確保、一部区間で段差、横断勾配の改善の検討が必要である。
  - ・商店街での不法駐輪車両、不法駐車車両、看板などが通行の妨げとなっている。
- 信号・交差点
  - ・駅前の主要交差点での音響信号が設置済みである。
  - ・特定経路における音響信号設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討が必要である。

## 建物用途現況図



平成9年12月末現在